

教 育 委 員 会

総 務 課

I 事 務 局 費

1 教 育 広 報 事 業 17,093 16,941 教育委員会の広報活動を推進するため、県域テレビ・ラジオで教育番組を制作・放送するとともに、教育広報紙の発行を行った。

II 教育連絡調整費

1 親と子どものためのきらめき“夢”トーク事業 1,828 1,530 日本を代表する科学技術・文化芸術分野等のオピニオンリーダーを招聘し、講演会を5回開催した。
2 被災児童生徒就学支援事業 330 185 東日本大震災により被災し、経済的理由から就園・就学が困難となった幼児児童生徒に対し、市町村が行う就学等支援事業に要する経費の補助を行った。

III 中学校教育振興費

1 県立中学校一般運営費事業 44,341 43,761 県立中学校5校の管理運営を行った。

IV 全日制高等学校管理費

1 全日制高等学校一般運営費事業 1,330,275 1,305,801 全日制高等学校30校、分校4校の管理運営を行った。

V 定時制高等学校管理費

1 定時制高等学校一般運営費事業 60,382 57,791 定時制高等学校10校の管理運営を行った。

VI 高等学校教育振興費

1 全日制高等学校遠距離通学費等補助金事業 9,210 7,653 特別地域（山間・へき地）から通学する県立全日制高等学校生徒に対し、通学費等の一部を補助することにより修学の機会均等を図る事業を行った。

[補助対象者数及び補助金額]

区 分	人 数 (人)	補助金額
下 宿	33	2,871

区 分	人 数 (人)	補助金額
交 通 機 関	83	4,363
単車・自転車	47	419
計	163	7,653

2 教育設備等整備事業 211,395 210,373

高等学校の産業教育設備、理科に係る設備の充実を図るため、実験・実習用備品の整備を行うとともに、情報処理教育の充実を図るため、情報機器の設備更新等を行った。

VII 学校建設費

1 校地等整備事業 542,991 408,241

〔翌年度繰越額〕
134,750

県立学校3校の運動場整備工事、1校のテニスコート等改修設計を行った。

・和歌山北高校西校舎 運動場整備工事

2 大規模改造事業 605,757 598,504

高等学校において、築後20年以上の老朽建物の大規模改造を行った。

・和歌山高校 実習棟 1,992㎡

3 防災機能整備事業 234,650 233,593

県立学校14校の武道場吊り天井の改修を行った。

・紀北工業高校 柔剣道場天井改修工事

(前年度繰越分)

1 校地等整備事業 20,000 19,999

県立学校1校の運動場造成工事を行った。

・和歌山北高校西校舎 運動場造成工事

VIII 特別支援学校費

1 特別支援学校一般運営費事業 514,415 511,802

特別支援学校11校の管理運営を行った。

IX 特別支援学校教育振興費

1 特別支援学校教育設備等整備事業 12,583 12,562

特別支援学校の教材の充実等を行った。

X 特別支援学校建設費

1 特別支援学校校舎等整備事業 192,324 189,529

特別支援学校において、空調設備の更新及びトイレ改修等を行った。

・和歌山盲学校 管理・特別教室棟外 トイレ改修工事

・和歌山ろう学校 普通教室・特別教室棟外 空調更新（I期）工事

生涯学習課

I 教育連絡調整費

1	人権教育推進事業	5,032	4,288	同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決をめざし、学校における人権教育の推進を図るため、教職員の研修、学校訪問、差別事象指導及び指導者用資料等の刊行等を行った。
2	奨学のための給付金（公立分）事業	382,687	381,251	全ての意志のある高校生等が安心して教育を受けられるよう、授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等がいる低所得世帯に対して『奨学のための給付金』の支給を行った。（4,746件）
3	和歌山県大学生等進学給付金事業	24,257	24,083	意欲と能力が高いにもかかわらず、経済的な理由により修学を断念することなく安心して学べるよう、また、将来の地域産業の担い手となるよう支援するため、低所得世帯の学生に対して『和歌山県大学生等進学給付金』の支給を行った。（40人）

II 社会教育総務費

1	生涯学習推進の基盤整備事業	1,594	1,182	「きのくに学びの日」（11月1日）及び「きのくに学び月間」（11月）を広く県民に周知し、県民の教育に対する関心を高め、生涯にわたる学びの気運を醸成するとともに、学習成果をまちづくりに生かす方策について考えるセミナー・企画ゼミや地域課題の解決に向けたネットワークづくりを行うための事業を実施した。
2	人権教育総合推進事業	11,215	10,967	人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るとともに、様々な人権に関わる問題の解決のため、人権問題に関する教育・啓発事業補助、保護者学級開設事業補助・委託、識字教育推進事業、障害者（児）教育推進事業、人権教育指導者研修講座、人権教育地方別研修会、指導者用資料及び学習教材等の作成を行った。
3	地域ふれあいルーム推進事業	18,623	18,511	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得ながら、子供たちと共に学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する拠点として、「地域ふれあいルーム」を全県的に開設することで、大人と子供の交流活動を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあいルーム 放課後子ども教室・土曜日等子ども教室 16市町75箇所（和歌山市を除く） ・いきいき交流教室（県立特別支援学校） 11校11箇所
4	きのくに共育コミュニティ事業	12,095	10,221	きのくに共育コミュニティ研修会や県内小・中学校を核とする「共育ミニ集会」を開催するとともに、学校支援ボランティア活動を推進した。また、地域共育コミュニティ形成促進事業として県内5市町（9本部）に地域共育コミュニティ本部を設置し、学校・

5	子どもの居場所づくり事業	18,308	16,590	<p>家庭・地域が連携して地域ぐるみで子供たちの豊かな育ちを支える体制づくりを行った。家庭教育については、県内7地域で子育て講座を開催するとともに、訪問型家庭教育支援事業として、個別支援や協議会等を実施し、家庭の教育力の向上に努めた。</p> <p>放課後等に一人で過ごさなければならない小学校4年生から6年生等に対し、学習支援や大人とのふれあいの機会を定期的・継続的に提供することで、学習習慣の定着やコミュニケーション力の向上等、子供の豊かな成長を支援する取組を促進した。</p> <p>・23市町59箇所（和歌山市を含む）</p>
---	--------------	--------	--------	---

Ⅲ 視聴覚教育費

1	文化情報センター運営事業	13,444	12,731	<p>県民カレッジの情報提供を県立図書館システム等で行うとともに、文化情報センター内のスペースやメディア・アート・ホール等を生涯学習活動の場として効果的に運営できるよう整備し提供した。併せて、外部コーディネーター制度を活用し、優れた音楽や文化の発信をすることにより、県の生涯学習推進の拠点施設として県民の幅広い生涯学習活動の促進を行った。</p>
---	--------------	--------	--------	---

Ⅳ 図書館費

1	蔵書充実事業	62,477	62,471	<p>県の中核図書館として、広く県民の生涯学習ニーズに応えるため、課題解決に役立つ資料及び子供の読書推進に必要な資料の充実を図った。また、和歌山県に関する資料の収集に努めた。</p> <p>・平成27年度末蔵書冊数 990,464冊</p> <p>・平成28年度末蔵書冊数 995,431冊</p>
---	--------	--------	--------	---

スポーツ課

Ⅰ 体育振興費

1	ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事業	16,049	15,441	<p>各種の体力測定により優れた素質を有する小学生を発掘し、発達段階に応じた様々な育成プログラムを実施した。平成28年度の体力測定会により、11期生30人と10期生の追加認定者8人を新たに認定した。</p>
2	国民体育大会・近畿ブロック大会派遣事業	79,332	76,259	<p>岩手県で開催された第71回国民体育大会に本県選手団として357人を派遣するとともに、長野県で開催された第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会に17人、スケート競技会に2人を派遣した。</p> <p>〔第71回国民体育大会和歌山県選手団の成績〕</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・男女総合成績 第20位（天皇杯：1,008.5点） ・女子総合成績 第29位（皇后杯：544点） <p>また、京都府で開催された近畿ブロック大会には32競技に731人を派遣し、19競技38種別47種目が本大会へ出場した。</p> <p>スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、県及び各市町村の活性化に資するため、第16回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会を開催した。</p>
3	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催事業	16,845	16,187
4	広域スポーツセンター育成事業	1,031	898
5	三四六総合運動公園管理運営事業	24,000	24,000
6	マスターズスポーツ推進事業	15,235	14,458
7	スポーツキャンプ誘致の推進事業	6,950	4,840
8	トップアスリート育成事業	198,441	187,588
9	コーチスキルアップ事業	35,975	25,138
10	スポーツ医・科学サポート事業	31,565	31,565

II 体育施設費

1	県立体育館・武道館維持運営管理事業	57,992	57,992	<p>県立体育館及び武道館の管理を(公財)和歌山県スポーツ振興財団へ指定管理委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 100,999人
2	和歌山ビッグ愛・ビッグホエール・ビッグウエーブ維持運営管理事業	256,062	253,766	<p>和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホエール及び和歌山ビッグウエーブの管理を(公財)和歌山県スポーツ振興財団へ指定管理委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数 635,784人

文化遺産課

I 文化振興費

1 文化振興事業	3,149	3,145	全国高等学校総合文化祭及び近畿高等学校総合文化祭の参加旅費並びに県高等学校総合文化祭の開催費を補助するなど、生徒の相互交流と芸術文化活動の活性化、日頃の文化部活動の発表の場の確保、生徒の豊かな感性と創造力を育むため、高等学校文化部活動の支援を行った。
----------	-------	-------	---

II 文化財保護費

1 文化財保護育成補助事業	50,000	44,564	国・県指定文化財及び埋蔵文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して助成を行った。 ・建造物、美術工芸品、記念物の保存修理等に係る補助金：41件 （国指定文化財：25件、県指定文化財：16件） ・発掘調査に係る補助金：6件
2 世界遺産管理事業	11,691	11,308	自然災害や経年劣化等による参詣道・建造物等の復旧及び周辺整備、並びに参詣道の維持管理等の事業に対して20件の補助を行った。
3 特別史跡岩橋千塚古墳群等保存整備・活用事業	9,138	9,092	特別史跡岩橋千塚古墳群の保存整備と活用を進め、情報発信した。
4 岩橋千塚古墳群追加指定事業	35,952	16,813	国に追加指定の意見具申書を提出していた天王塚古墳と大谷山22号墳の一部が、特別史跡に追加された。このうち、天王塚古墳への連絡道路の設計及び道路用地の境界確定作業を実施した。
		17,463	
5 旧紀州藩士邸長屋門保存整備事業	75,037	74,913	旧紀州藩士邸長屋門の保存整備のため、建物の組立工事を行った。
(前年度繰越分)			
1 旧紀州藩士邸長屋門保存整備事業	5,430	5,430	旧紀州藩士邸長屋門の保存整備のため、建物の組立工事を行った。

III 美術館費

1 展覧会開催事業	26,136	25,507	近代美術館において、国内、県内の作家の優れた美術品を鑑賞する機会を提供するための特別展を1回、企画展を3回、美術館所蔵の美術品を広く公開する常設展（コレクション展・特集展示）を5回開催した。 ・年間入館者数 52,505人
2 大規模展覧会「花開く大	39,577	39,577	大規模展覧会「動き出す！絵画 モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」を

正の洋画とヨーロッパの
美術」(仮題)事業

開催した。(会期：平成28年11月19日～平成29年1月15日、入館者数：19,013人)

IV 博物館費

1 展覧会開催事業 14,705 14,442

博物館において、和歌山県の歴史に関わる県内外の優れた文化財をテーマに即して調査研究し、歴史と文化について県民の認識を深めるための特別展を3回、企画展を6回開催した。また、県民の生涯学習等に資するため、本県の原始から近現代に至る歴史と文化を紹介する常設展示を行った。

・年間入館者数 36,922人

V 紀伊風土記の丘管理費

1 展示・調査事業 65,943 64,945

紀伊風土記の丘において、広く県民に歴史や民俗に対する関心を高めてもらうため、調査研究の成果をもとに特別展を1回、企画展を3回開催した。また、常設展を通年開催した。

・年間入館者数 18,013人

2 ふるさと紀の国ふれあい
体験事業 2,943 2,943

郷土の歴史・文化に対する関心を高めてもらうため、小学生から大人を対象にモノ作り体験や各種催し物を実施した。

・モノ作り体験(参加者：延べ4,696人) ・各種催し物(参加者：延べ4,808人)

VI 自然博物館費

1 教育普及展示事業 11,994 11,671

自然博物館において、自然に関する知識を広く県民に普及させるため、特別展を1回、企画展を1回、講演会を1回、談話会を1回開催した。また、小・中学校や教育団体等を対象とした出前教室を38回(対象1,425人)、各種イベントを39回実施した。

・年間入館者数 121,363人

県立学校教育課

I 教育連絡調整費

1 特別支援学校看護師派遣
事業 33,853 32,562

医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する特別支援学校8校に看護師を派遣して、医師法の制限により教員が行えない医療行為等専門的な対応を行った。特に、対象児童生徒の在籍が多い学校へは看護師の複数配置を行った。

2 国際人育成プロジェクト 149,271 147,756

「実践的な英語力向上」に向けた授業改善を実施していくため、高等学校の英語科教員

事業			等を対象とした指導力・英語力向上研修、高校生英語ディベート大会及びわかやま高校生クイズ in English等を開催した。
3 きのくに科学オリンピック事業	2,037	1,273	高校生を対象（参加：8校・18チーム）に科学や理数系分野への学習意欲の向上を図ることを目的とした科学力向上ゼミ（計12回）及びセミナー（計2回）を実施するとともに、きのくに科学オリンピックを開催し、「科学の甲子園全国大会」への出場校を決定した。
4 長期就業体験事業	1,585	1,162	地元企業を知り、地元就職の促進を図るため、県内企業及び職業系高等学校を紹介する冊子を作成した。（19,000部）
5 高校生チャレンジ推進事業	2,696	2,040	生徒の可能性を広げるとともに、ふるさとを担う人材の育成を図るため、全国規模の大会及びコンテスト等への挑戦を支援した。（延べ9件）
6 学習指導支援員派遣事業	2,607	1,267	若手教員等への学習指導等に関するスキルの継承を図るため、学習指導支援員を県立学校14校に派遣した。（延べ75人）
7 イノベーションスクール（OECD教育和歌山版）推進事業	4,662	4,391	急激に変化する社会や経済に対応し、国際的視野を持って地域社会に貢献できる人材を育成するため、県立高等学校5校をイノベーションスクールに指定し、指定校ごとに設定したテーマを基に、課題解決に向けた取組を行った。また、指定校の生徒が参加するワークショップ、国内及び海外研修等を実施した。

義務教育課

I 教育連絡調整費

1 不登校等総合対策事業	186,086	182,892	不登校・いじめ等問題を抱えている児童生徒の心のケアを図り、教員の資質向上及び各学校の教育相談体制を充実させるため、小学校97校、中学校105校、県立高等学校49校及び特別支援学校7校にスクールカウンセラー等を配置した。また、児童生徒が置かれている環境の改善に向けて関係機関との連携を調整し、児童生徒の不安や悩み等を解消するため、スクールソーシャルワーカー等を23市町等に配置した。
2 「ことばの力」向上プログラム事業	1,531	1,255	児童生徒の「ことば」に対する興味・関心を高めるため、漢字の博士試験、きのくにジュニア文芸賞及び「ことばの力」向上プロジェクトを実施した。また、学校司書配置及びボランティアの活用を促進するとともに、学校司書を対象に資質能力の向上を図るための研修を行った。さらに、県立図書館においても中高生読書まつりや手づくり紙芝居コンクールなど読書活動の推進、環境整備を進め、「ことば」に関わる総合的な施策を展開した。
3 国際人育成プロジェクト	28,911	26,941	教員の指導力・英語力の向上を図るため、小学校の中核教員及び中学校の英語科教員等

事業

4	きのくに学力向上総合戦略事業	21,672	21,061
5	きのくに学力定着フォローアップ事業	9,389	9,104

を対象とした指導力・英語力向上研修を実施した。また、英語への興味・関心の喚起と英語力の向上を図るため、公立中学3年生を対象に英語検定を学習指導に活用した。小学校4・5・6年生、中学校1・2年生を対象に国語及び算数・数学の学習到達度調査を実施することにより、学習到達度状況や改善状況を把握、「結果分析及び指導のポイント」を提供し、学校における指導の充実を図った。また、小学校教員を対象にした「学力形成に係る研修（算数）」を実施し、教員の授業力向上を図った。さらに、教頭5人を福井県の小・中学校に3週間、教諭30人を秋田県と福井県の小・中学校に5日間派遣し、学校経営や学力向上の具体的な取組について学ぶとともに、学んだ成果を学校内外に普及させた。

優れた教育実践力を持つ退職教員等をアドバイザー（40人）として、課題の大きい学校（45校：小学校27校・中学校18校）に派遣し、授業改善などの学力向上に取り組む学校を支援した。

教育センター学びの丘

I 教育センター費

1	基本研修事業	13,278	13,124
---	--------	--------	--------

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の新規採用教員及び教職10年経験者を対象とした研修を実施し、教員の実践的指導力と使命感を養った。また、幼稚園等の新規採用教員を対象とした研修を実施し、実践的指導力と使命感を養った。

[初任者研修対象者]

	拠点校方式		単独校方式		備 考
	学校数	人数	学校数	人数	
小学校	87	104	4	4	
中学校	43	56	4	4	
高等学校	0	0	26	48	
特別支援学校	4	16	7	14	内2校両方式重複
計	134	176	41	70	
合計	175校		246人		

[10年経験者研修対象者]

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
10年経験者	42人	28人	43人	20人	133人

[幼稚園等教員研修対象者]

区 分	公立幼稚園	私立幼稚園	認定こども園
新規採用教員	10人	16人	72人

2 専 門 研 修 事 業 4,102 3,635

教職員としての資質能力の向上を図るため、校種、職種、教科、職務等に応じた研修を行った。また、長期研修として、教員が教育センター学びの丘で1年間、本県教育の課題解決に向けて研究に取り組み、学校支援を行った。さらに、社会体験研修として、教員を社会教育施設、社会福祉施設等に1年間派遣し、資質能力の向上を図った。

[研修講座実施状況]

講 座 数		101 講座
受	小 学 校	1,170 人
	中 学 校	806 人
講	高 等 学 校	461 人
	特別支援学校	169 人
者 計		2,606 人

[主な講座内容]

- ・教育経営研修
- ・主任等研修
- ・特別支援学級担当教員研修
- ・学校事務職員研修
- ・教科領域等研修
- ・特別支援教育研修
- ・教育相談研修
- ・教職等専門研修
- ・養護教員、栄養教諭、学校栄養職員研修

3 教育相談推進事業 1,856 1,843

児童生徒の心理的な諸問題や、特別な支援を必要とする子供の教育に関して、教職員等の相談に応じ、問題解決のために専門的立場から援助した。

[年間教育相談実施状況]

校 種	小 学 校	中 学 校	県立学校	そ の 他	計
相談件数	390件	181件	124件	8件	703件

4 学校支援・調査研究事業 2,143 2,107

学力向上推進支援として、各学校が自校の学力診断を行えるように、全国学力・学習状況調査活用ツールの開発を行った。また、研究協力校における総合的な学校力向上推進支援や、授業力向上及び授業研究推進支援を行った。

[学校支援実施状況]

区 分	内 容	参加者数(回数)
学校力向上推進支援	総合的な学校力向上推進支援・共同研究	901人(154回)
授業力向上及び授業研究推進支援	学校支援「学びサポート」	2,657人(150回)

健 康 体 育 課

I 保健体育総務費

1 教職員児童生徒健康管理 61,094 60,086

児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、心臓の疾病異常・結核・生活習慣病

・健康指導事業

2	学校安全管理指導事業	128,694	97,316
3	わかやま学校・地域防災 力アップ事業	5,882	5,590

関連の健康診断を実施した。また、健康教育推進指導のための研究大会等の開催や健康課題の解決に向けた研修・協議会を開催した。

児童生徒の事故等に対応するための保険に加入するとともに、災害に対して給付金を支給した。

児童生徒に正しい防災知識を習得させるとともに、地域防災の担い手としての自覚を持たせ、学校及び地域の防災力向上を図った。

II 体育振興費

1	和歌山・海プロジェクト 事業	3,659	3,618
2	全国高等学校総合体育大会 ヨット競技大会開催事業	23,019	23,019
3	ハイスクール強化校指定 事業	29,650	29,128
4	ジュニアハイスクール指 定事業	7,150	6,955

ヨット等体験会及び出前授業を18回開催し、6市1町の小学校12校、中学校4校、特別支援学校1校、計595人の児童生徒が参加し、ヨット競技への関心を高めた。

「2016 情熱疾走 中国総体」が中国地方の5県で開催され、本県では固定開催が2年目となるヨット競技大会を開催した。競技力の向上はもとより、大会の準備・運営等において高校生活動を展開するとともに、本県の魅力を全国に発信することができた。

特色ある学校づくりの一環として、運動部活動の活性化を図るため、79運動部を指定し、競技力の向上に努めた。

中学校運動部活動の活性化を図るため、61運動部を指定し、競技の普及及び競技力の向上に努めた。